

没後30年

芥川賞作家 桜田常久展

—町田の戦中・戦後を生き延びて—



写真：桜田常久（町田の自宅にて）

2011年 1/22(土) ▶ 3/27(日)

観覧時間 / 10:00~17:00

休館日 / 毎週月曜日(3月21日は開館)、2月10日(木)、3月10日(木)



入場無料

町田市民文学館ことばらんど

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-16-17

TEL:042-739-3420 FAX:042-739-3421

- ▶ JR横浜線「町田駅」ターミナル口から 徒歩8分
- ▶ 小田急線「町田駅」東口から 徒歩12分

—没後30年—

芥川賞作家

桜田常久展

—町田の戦中・戦後を生きて—

芥川賞作家にしてドイツ語教師、歴史家にして農民運動家—さまざまな顔をもつ桜田常久が亡くなって、2010年は30年の節目にあたります。

桜田常久は1897年、裁判官だった父の赴任先大阪で生まれ、東京帝国大学^{ドイツ}独逸文学科に在学中から同人誌に小説や戯曲を発表しています。卒業後は日本大学予科などでドイツ語を教え、またドイツ戯曲の翻訳も手がけています。1932年に当時の町田町本町田に転居、教師のかたわら農耕を始めました。1941年には小説「平賀源内」で芥川賞を受賞しますが、自信作だった前作「^{かいり}薙露の章」が落選だったため、不本意な受賞となりました。

戦後は農民運動に身を投じ、農地解放に尽力します。また民衆運動に深い関心を寄せる一方、「安藤昌益」「画狂人北斎」「山上憶良」など、時代の転換期に生きた人物たちの伝記小説を発表しています。これらの作品には、不合理な身分制の下で特権階級を支えた、働く民衆への共感があふれています。

本展では、長らく町田に在住した反骨の作家桜田常久の生涯と作品を紹介します。



↑ 第四高等学校(現金沢大学)時代の桜田常久



↑ 芥川賞受賞作「平賀源内」(1941年刊)



↑ 自宅の書斎 万木草堂(本町田)



←「画狂人北斎」の執筆メモ
原稿用紙を次々継いで4mにも及んでいます



「安藤昌益」の原稿→
(第1稿～第4稿)

関連イベント

● 講演会

①「北斎入門—桜田常久『画狂人北斎』にちなんで」

講師：河野結美(町田市立国際版画美術館学芸員)
日時：2月6日(日) 14:00~16:00

②「町田に生きた桜田常久をめぐる人々」

講師：新井勝紘(専修大学教授)&武藤紳夫(桜田常久友人)
日時：3月13日(日) 14:00~16:00
*①②とも会場：町田市民文学館 大会議室
定員：各100名(先着順)
申込み：1月11日(火) 9:00より
町田市民文学館カウンターまたは
☎042-739-3420で受付

● 朗読会

① 桜田常久の紹介と作品朗読

② 作品朗読

朗読：NPO法人 まちだ語り手の会
日時：①2月13日(日) 14:00~15:30
②2月20日(日) 14:00~15:00
会場：町田市民文学館 大会議室
*内容は各回異なります
いずれも申込み不要(直接会場へおいで下さい)

● 講座「万葉の歌人たち—桜田常久展によせて」(2回連続)

①「額田王と柿本人麻呂—七世紀宮廷の歌人たち」

講師：森 朝男(フェリス女学院大学名誉教授)
日時：2月9日(水) 10:00~12:00

②「山上憶良—子どもの発見」

講師：呉 哲男(相模女子大学教授)
日時：2月23日(水) 10:00~12:00
*会場：町田市民文学館 大会議室
定員：30名(応募者多数の場合は抽選)
申込み：往復はがきで申込み(1月28日必着、1人1枚)
氏名・住所・電話番号を明記し、
町田市民文学館「万葉講座係」まで。
子ども(1歳~未就学児)の保育を希望される方は
その旨明記して下さい(定員6名)。
保育の説明会を2月2日(水)午前に行います。

● 展示解説

2月4日(金)、2月15日(火)
3月5日(土)、3月20日(日)] いずれも14:00~14:40
*申込み不要(直接展示室入口にお集まり下さい)